

まんが  
で  
解説!

# 特殊詐欺

# にご注意を!!

高齢者を狙う特殊詐欺は頻繁に発生しています。よくある手口を知り、日ごろから対策を講じておきましょう。

監修 / 社会保険労務士 望月厚子

## 「お金」や「健康」に関する不安につけ込む

高齢者が日ごろ抱いている「お金」や「健康」に関する不安。これらにつけ込んで年金や財産を狙う手口が後を絶ちません。警察庁によると、「特殊詐欺」（電話やメールなどを使って、嘘の口実でお金をだまし取る犯罪）は、令和2年に13,550件起きました。そのうち、高齢者の被害の割合は85.7%にのぼります。

特殊詐欺だけでなく、不安につけ込む勧誘などで商品やサービスを売りつける悪質商法にも注意が必要です。とくに最近は新型コロナウイルス感染症を口実にした手口が増えているので注意しましょう。

### ▶こんな人は狙われやすい!?◀

- トラブルや不審なことがあっても、家族に遠慮して相談しない
- 日中一人で、家で過ごしている
- 「自分は絶対だまされない」という自信がある
- 公的機関を名乗る人を信じてしまう

### ▶とくに注意したい4つのケースをご紹介します!◀



- ① 日本年金機構を装ったフィッシング詐欺
- ② 違法な年金担保貸付
- ③ 警察官などを装ったキャッシュカード詐欺盗
- ④ 年金生活者支援給付金制度に便乗した特殊詐欺

## ①「日本年金機構を装ったフィッシング詐欺」編 要注意ワード「個人情報を更新してください」



### 【手口】

フィッシング詐欺とは、実在する企業や組織を装ってメールやメッセージを送り、偽のウェブページにアクセスさせ、個人情報を盗み出す行為です。さまざまな口実で個人情報を入力させようとしています。入力すると悪用されるおそれがあります。

### 【対策】

日本年金機構が、メールやメッセージで個人情報を尋ねることはありません。日本年金機構からのメールは、送信元アドレスの末尾が「nenkin.go.jp」となっています。それ以外の不審なメールは無視し、URLをクリックしないようにしましょう。

## 2 「違法な年金担保貸付」編

要注意ワード **「年金受給者大歓迎! 融資します」**



### 【手口】

悪質な貸金業者が「年金を担保に融資します」と勧誘し、高金利で貸し付けます。それを返済させるため、被害者から年金証書や預金通帳、キャッシュカードなどを取り上げ、お金を引き出します。

### 【対策】

公的年金を担保として融資を受けられる「年金担保貸付制度」は、令和4年3月末日で申し込みの受付が終了します。家計が苦しく、金銭的な支援が必要な場合は、お住まいの地域の自立相談支援機関（自治体の福祉担当部署など）に相談しましょう。家計の状況に合わせ、家計管理に関する支援や、さまざまな給付制度の利用に向けた支援などが受けられます。一定の要件を満たせば、社会福祉協議会が実施する「生活福祉資金貸付制度」を利用することもできます。

## 3 「警察官などを装ったキャッシュカード詐欺盗」編

要注意ワード **「キャッシュカードが不正利用されています」**



### 【手口】

警察官や銀行協会職員等を名乗り、「キャッシュカード(銀行口座)が不正利用されている」という内容の電話をかけてきて、自宅に来ます。そして、「預金を保護する手続きをする」といった口実でキャッシュカードをすり替えるなどして、盗み取ります。漫画のケースでは、カードを入れた封筒を開けずに保管させるという巧妙な手口で、すぐにはカードのすり替えに気づかず、口座から現金が引き出されてしまいました。

### 【対策】

警察官などが暗証番号を尋ねたり、キャッシュカードを預かったりすることは絶対にありません。そのような要求には応じないようにしましょう。また、公的機関の職員を名乗る人が来たときは名刺をもらうか、身分証を見せてもらいましょう。



## 4 「年金生活者支援給付金制度に便乗した特殊詐欺」編

要注意ワード **“給付金を振り込むので、口座番号を教えてください”**



### 【手口】

年金生活者支援給付金制度は、消費税率引き上げ分を活用し、公的年金等の収入や所得額が一定以下の年金受給者を支援するために始まりました。老齢年金受給者の場合、世帯全員が市町村民税非課税であるなどの支給要件があります。この制度に便乗して電話をかけ、口座番号や暗証番号、マイナンバーを聞き出そうとする事例がありました。

### 【対策】

年金生活者支援給付金の手続きは年金事務所などで行い、給付金は年金振込口座に、年金に上乗せして支給されます。そのため、新たに口座番号を聞かれることはありません。公的機関の職員が電話で口座番号等の個人情報を尋ねることもありません。電話があっても、個人情報を答えないようにしてください。自分がもらえるお金の種類を確認することが大切です。

## 新型コロナウイルス感染症に便乗した詐欺にご注意を

新型コロナウイルス感染症をめぐる不安の広がりとともに、「ワクチン接種の予約を代行する」といった口実で、金銭や個人情報を求める電話やメールがあったという相談が消費生活センター等に寄せられています。

また、電話やメールで「新薬を開発している」として投資話を持ちかける、「検査キットを送るため」として家族構成などを尋ねる、市区町村の新型コロナウイルス対策室を名乗り、個人情報を聞き出す……といった事例もありました。市区町村等が、電話やメールで金銭や個人情報を求めることはありません。注意しましょう。

### 詐欺にあわないために、対策を!

高齢者を狙うさまざまな詐欺手口にだまされないよう、以下のような予防策を取り入れてみましょう。

- 暗証番号をキャッシュカードに書かない、人に教えない
- 公的機関を名乗るメールなどに記載されたURLをむやみにクリックしたり、返信したりしない
- 在宅時も留守番電話にする、または自動通話録音機(無償貸与している自治体もあり)を利用する
- 業者や公的機関の職員が訪問してきたら、名刺をもらうか身分証を確認させてもらう
- 不審なことがあったらなるべく早く家族や知人、公的機関に相談する
- 「電話やメールで口座番号、暗証番号を聞かれることはない」と覚えておく

### ○ 悩んだとき、困ったときの相談先 ○

「なにかおかしい」と思ったら、すぐに公的機関に連絡しましょう。早く相談するほど、被害を未然に防ぐことや、軽減することができる可能性が高まります。

- 商品やサービスの契約に関する疑問やトラブルがある……「消費者ホットライン」**188**に電話しましょう。近くの消費生活センターや消費生活相談窓口を案内してもらえます。
- 詐欺にあった可能性がある……「警察相談専用電話」**#9110**を利用すると、電話をかけた地域を管轄する警察本部などの相談窓口につながります。